

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ディーエムエス

コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理

(氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,438	5.4	435	17.9	416	19.9	236	107.3
25年3月期第2四半期	8,002	△2.9	369	72.4	346	87.1	114	48.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 325百万円 (224.3%) 25年3月期第2四半期 100百万円 (12.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	40.63	—
25年3月期第2四半期	19.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	12,530	7,440	59.4	1,277.66
25年3月期	13,234	7,202	54.4	1,236.84

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,440百万円 25年3月期 7,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,050	3.9	1,270	14.7	1,220	15.4	730	22.4	125.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	7,262,020 株	25年3月期	7,262,020 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,438,680 株	25年3月期	1,438,616 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	5,823,356 株	25年3月期2Q	5,823,472 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクや来年度からの消費税増税を控えていることで、不透明な状況が続いたものの、政府の経済対策や日本銀行の金融政策の効果などを背景とした円安・株高の影響により、緩やかな回復基調となりました。

当社グループ(当社および当社の子会社)に関連する広告業界におきましても、こうした状況を反映し、夏場以降、顧客企業における販促企画の需要は少しずつではありますが回復の兆しが見られるようになりました。

このようななか当社は、新規顧客開拓を積極的に展開するとともに、宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたメーリングサービス業務の内製化を推進してまいりました。また、「EC・通販出荷代行サービスの開発」や「マーケティングサービスの強化」、「ウェブ・モバイルマーケティングサービスの開発」といった新サービス開発に取り組んでおり、「ウェブ・モバイルマーケティングサービスの開発」では、「かざしてweb」という自社アプリを開発し、提供を開始するなど、事業領域の拡大にも努めてまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、ダイレクトメール部門を中心として順調に推移したことにより、84億38百万円(前年同期比5.4%増)となりました。連結営業利益は、増収効果に加えて内製化推進によって利益率を改善したことにより、4億35百万円(同17.9%増)となりました。連結経常利益は、営業外収益が12百万円(同13.3%減)、営業外費用が31百万円(同13.9%減)となった結果、4億16百万円(同19.9%増)となりました。連結四半期純利益は、税金費用を1億72百万円としたことにより2億36百万円(同107.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は既存先からの受注増や新規先の獲得によって、74億90百万円(同4.7%増)、セグメント利益は増収効果に加えてEC・通販出荷代行業務、封入業務などの稼働率向上による利益率の改善の結果、5億92百万円(同11.9%増)となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は5億63百万円(同5.7%増)となりました。セグメント利益はユーザー獲得プロモーションのキャンペーン業務などの貢献によって88百万円(同13.4%増)となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は3億42百万円(同23.2%増)、セグメント利益は13百万円(同6.5%減)となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロスタビル(東京都千代田区)等の売上高は前年同期とほぼ同額の29百万円、セグメント利益は物件の減価償却費遞減効果により4百万円(同135.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に仕掛品が1億41百万円増加しましたが、現金及び預金が2億97百万円、売上債権が5億34百万円減少したことにより、全体として46億69百万円(前連結会計年度末比7億19百万円減)となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が1億18百万円減少しましたが、保有株式の時価上昇などで投資有価証券が1億51百万円増加したことにより、全体として78億51百万円(同18百万円増)となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が10百万円(同1百万円減)となりました。

その結果、資産合計では、125億30百万円(同7億3百万円減)となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が6億93百万円、未払法人税等が87百万円、それぞれ減少したことにより、全体として25億40百万円(同7億65百万円減)となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が45百万円、長期借入金が1億56百万円減少したことにより、全体として25億49百万円(同1億75百万円減)となりました。

その結果、負債合計では、50億90百万円（同9億40百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益2億36百万円の計上と配当87百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて1億49百万円の増加となりました。そのほか株式市場等の上昇を受けてその他有価証券評価差額金が88百万円（税効果分は除く）増加したことにより、全体として74億40百万円（同2億37百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月31日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,899	1,379,177
受取手形及び売掛金	3,134,326	2,599,690
仕掛品	167,078	308,613
立替郵送料	131,181	66,037
繰延税金資産	121,507	126,141
その他	160,734	229,088
貸倒引当金	△2,729	△39,709
流動資産合計	5,388,998	4,669,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,787,255	2,732,890
機械装置及び運搬具(純額)	325,252	285,136
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産(純額)	135,763	138,791
その他(純額)	51,853	44,367
有形固定資産合計	6,130,225	6,031,287
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	506,174	658,015
投資不動産(純額)	968,765	953,561
繰延税金資産	9,614	—
その他	232,981	141,941
貸倒引当金	△88,961	△3,000
投資その他の資産合計	1,628,575	1,750,519
固定資産合計	7,832,771	7,851,066
繰延資産		
社債発行費	12,278	10,715
繰延資産合計	12,278	10,715
資産合計	13,234,048	12,530,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,786,630	1,093,384
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	507,656	490,373
リース債務	39,345	42,275
未払法人税等	280,364	193,012
賞与引当金	207,297	211,708
その他	394,759	419,849
流動負債合計	3,306,204	2,540,754
固定負債		
社債	522,550	477,475
長期借入金	1,565,045	1,408,500
リース債務	147,513	144,101
繰延税金負債	9,970	48,902
退職給付引当金	353,736	355,192
役員退職慰労引当金	56,540	47,990
再評価に係る繰延税金負債	21,332	21,332
その他	48,523	46,289
固定負債合計	2,725,212	2,549,784
負債合計	6,031,417	5,090,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,958,990	6,108,269
自己株式	△582,600	△582,652
株主資本合計	7,937,206	8,086,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,817	171,244
土地再評価差額金	△817,392	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△734,575	△646,148
純資産合計	7,202,630	7,440,284
負債純資産合計	13,234,048	12,530,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,002,887	8,438,639
売上原価	7,032,559	7,405,981
売上総利益	970,327	1,032,658
販売費及び一般管理費	600,999	597,369
営業利益	369,327	435,289
営業外収益		
受取利息	180	131
受取配当金	6,603	6,108
雑収入	7,456	6,099
営業外収益合計	14,240	12,339
営業外費用		
支払利息	34,978	29,860
その他	1,625	1,649
営業外費用合計	36,604	31,510
経常利益	346,964	416,118
特別利益		
賃貸借契約解約益	4,821	—
固定資産売却益	—	328
投資有価証券売却益	—	13,977
特別利益合計	4,821	14,305
特別損失		
固定資産除却損	1,402	1,140
投資有価証券評価損	32,654	20,528
社葬費用	28,038	—
保険金損失	9,742	—
貸倒引当金繰入額	85,502	—
特別損失合計	157,341	21,669
税金等調整前四半期純利益	194,444	408,754
法人税、住民税及び事業税	81,778	173,804
法人税等調整額	△1,501	△1,680
法人税等合計	80,276	172,124
四半期純利益	114,167	236,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
四半期純利益	114,167	236,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,939	88,427
その他の包括利益合計	△13,939	88,427
四半期包括利益	100,227	325,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,227	325,057
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,444	408,754
減価償却費	201,640	205,135
社債発行費償却	1,563	1,563
退職給付引当金の増減額(△は減少)	695	1,456
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15,599	△8,550
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,837	4,410
貸倒引当金の増減額(△は減少)	79,809	△48,981
受取利息及び受取配当金	△6,783	△6,240
支払利息	34,978	29,860
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△328
有形固定資産除却損	1,402	1,140
投資有価証券評価損益(△は益)	32,654	20,528
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13,977
保険金損失	9,742	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,015,809	534,636
たな卸資産の増減額(△は増加)	△200,839	△141,535
立替郵送料の増減額(△は増加)	85,534	65,144
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,405	△68,585
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△6,079	3,161
仕入債務の増減額(△は減少)	△361,764	△693,245
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△92,935	35,842
その他	△78,593	85,328
小計	896,111	415,518
利息及び配当金の受取額	6,783	6,249
利息の支払額	△34,868	△29,882
保険金の受取額	100,000	—
法人税等の支払額	△250,385	△261,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	717,641	130,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△900	△1,549
有形固定資産の取得による支出	△128,867	△79,171
有形固定資産の売却による収入	—	650
資産除去債務の履行による支出	—	△1,077
投資有価証券の取得による支出	△9,788	△80,700
投資有価証券の売却による収入	—	56,327
貸付金の回収による収入	3,943	675
差入保証金の差入による支出	—	△270
差入保証金の回収による収入	—	9,140
その他	—	△6,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,613	△102,929

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	—
リース債務の返済による支出	△9,256	△19,941
長期借入金の返済による支出	△167,828	△173,828
社債の償還による支出	△45,075	△45,075
自己株式の取得による支出	△29	△51
配当金の支払額	△86,817	△87,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,007	△326,479
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,020	△299,271
現金及び現金同等物の期首残高	1,446,011	1,520,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,699,032	1,221,177

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,151,679	533,116	277,961	29,771	7,992,528	10,358	8,002,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	704	967	—	—	1,671	60	1,731
計	7,152,383	534,083	277,961	29,771	7,994,200	10,418	8,004,619
セグメント利益	529,281	77,666	14,614	1,745	623,307	2,891	626,199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	623,307
「その他」の区分の利益	2,891
セグメント間取引消去	△1,731
全社費用(注)	△255,149
棚卸資産の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	369,327

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,490,769	563,414	342,350	29,770	8,426,304	12,335	8,438,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	449	101	—	60	610	217	827
計	7,491,218	563,515	342,350	29,830	8,426,914	12,552	8,439,467
セグメント利益	592,388	88,109	13,662	4,117	698,278	6,887	705,165

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	698,278
「その他」の区分の利益	6,887
セグメント間取引消去	△827
全社費用(注)	△269,048
四半期連結損益計算書の営業利益	435,289

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。